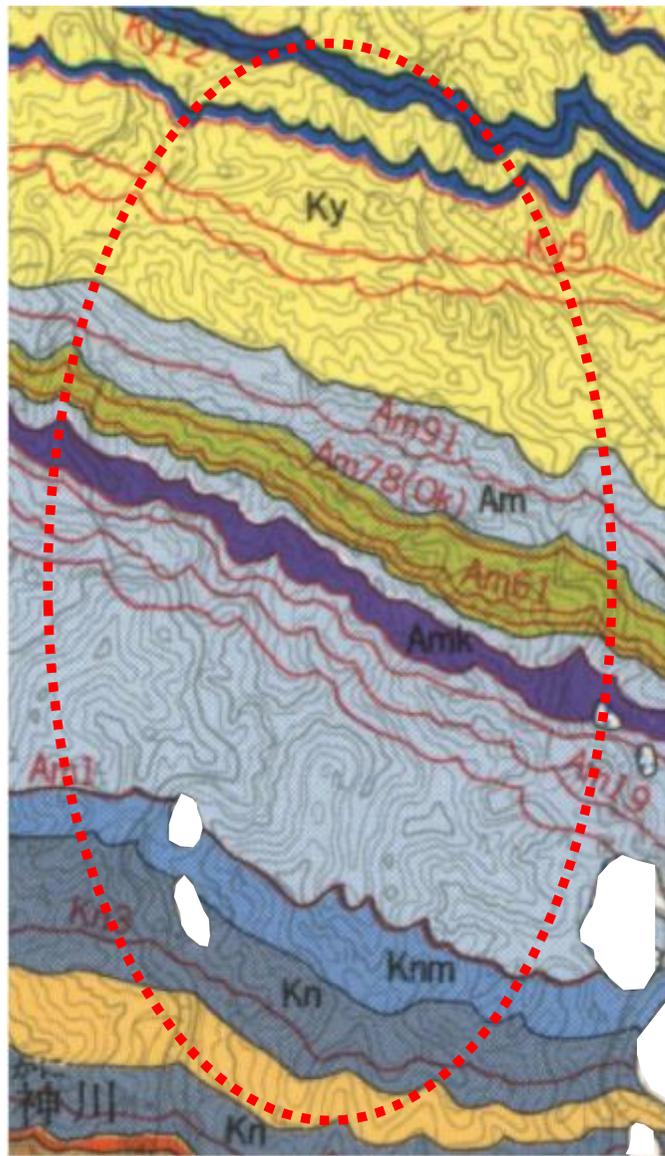


- ・ 事業地周辺の地質は、北部（清澄層）は砂岩泥岩、中央部（天津層）は泥岩、南部（木の根層）は泥岩と頁岩である。
- ・ CS立体図により、北部には多数の侵食谷が確認できる。また、中南部は、北部に比べて堆積物による緩傾斜地形が多く確認できる。



事業地周辺の地質図

《北部（清澄層）》

- 砂勝ち砂岩泥岩互層及び含礫砂岩（凝灰岩をはさむ）
- 泥勝ち砂岩泥岩互層及び泥岩（凝灰岩をはさむ）

多数の侵食谷

《中央部（天津層）》

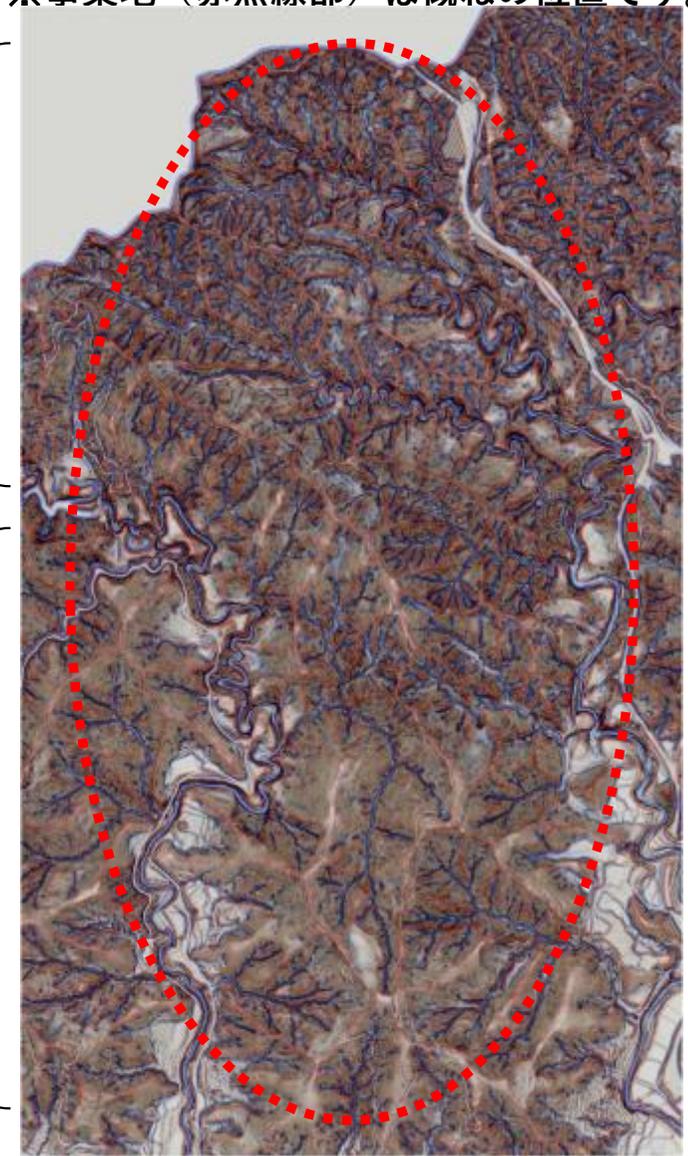
- 泥岩（砂岩・凝灰岩及び乱堆積層をはさむ）
- 砂質泥岩・泥質砂岩及び砂岩（凝灰岩をはさむ）
- 凝灰岩・泥岩・砂質泥岩・泥質砂岩及び凝灰岩砂岩

堆積物による緩傾斜地形

《南部（木の根層）》

- 泥岩（白色細粒凝灰岩をはさむ）
- 頁岩（白色細粒凝灰岩をはさむ）
- 砂岩頁岩互層（白色細粒凝灰岩をはさむ）

※事業地（赤点線部）は概ねの位置です。



事業地周辺のCS立体図\*

※CS立体図について

- ・ 尾根（凸地）は赤色、谷（凹地）は青色
- ・ 尖った尾根ほど濃い赤、緩やかな尾根は薄い赤
- ・ 深い谷は濃い青、浅い凹地形は薄い青
- ・ 急傾斜地は暗く、緩傾斜地は明るい

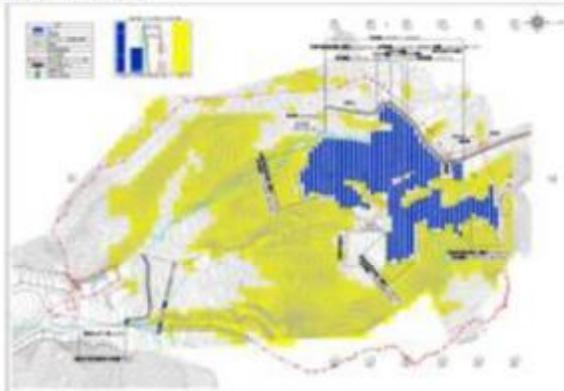
## 地域住民からの理解・支持を得るため取り組み

周辺自治体でも大規模再エネ事業への不信感が高まっていたことから、本事業は村とともに地域のメガソーラーとしてのモデルケースになる発電所を目指しました。

### 環境や景観への配慮

#### 当初計画よりも規模を半分以下に抑えた設計

- ・発電所は県立自然公園条例の特別地域(第3種)に指定。景観へ配慮する必要があり、御岳山山頂や登山道、公園内の主要道路等、複数の眺望点からの景観に配慮しパネルの配置を決定。
- ・発電所へ向かう主要道路からパネルが見えないようパネル枚数を減らした。目隠しとしての樹木の保存(林地開発なし)をしている。当初経緯として、スキー場全体を活用すれば倍以上の事業計画とすることもできたものの、村と協議を行って規模を半分以下に抑えて景観等を優先した経緯がある。



発電所図面：  
黄が事業用地、青がパネル設置地

自然電力グループ

### 理解・指示を得るための取り組み

#### 説明会と回覧板を用いた周知の徹底

- ・新型コロナ感染対策を施し実施した住民向け説明会(全3回)、複数回にわたる事業計画の全戸配布。説明会には村役場にも同席頂いた。18年施行「王滝村再エネ条例」に基づき、住民意見や村役場設置の協議会での審議を経て、住民意見に配慮した計画を策定。
- ・発電所完工前後で村内の小学校への事業説明を行い、また現在、当初の計画に則り、再エネ普及の取り組みについて同村と協議の上、住民並びに小学校児童の発電所見学会、説明会の開催を検討している。



(事前調査)銀河村キャンプ場から  
景観調査

© Shizen Energy Inc.

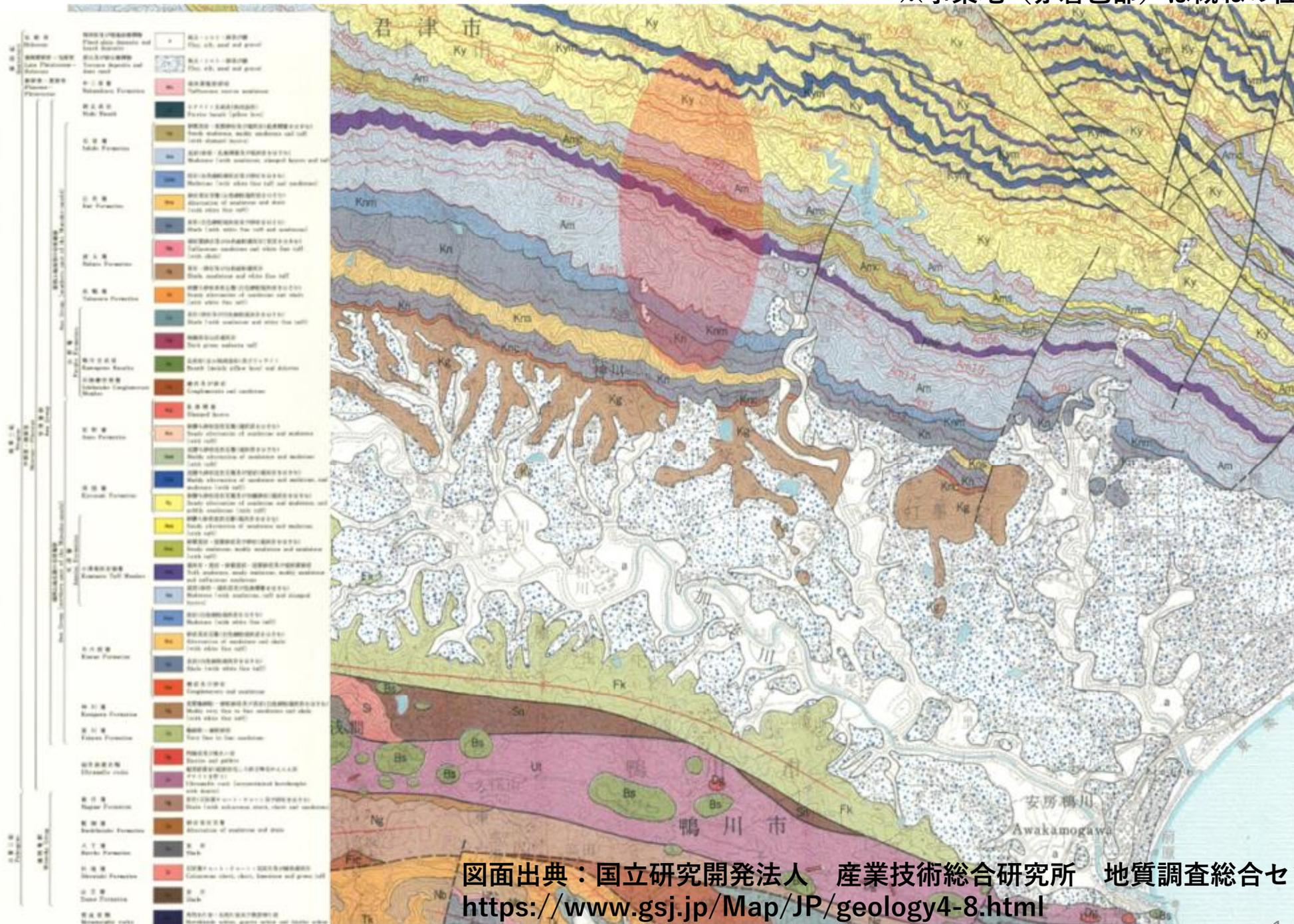


(事前調査)御岳山9合目から  
景観調査

出典:太陽光発電協会HP <https://www.jpea.gr.jp/news/24776/>  
「地域との共生・共創」並びに「自然環境配慮と生物多様性の保全」に基づく普及のベストプラクティス例  
(2025年11月11日)



※事業地（赤着色部）は概ねの位置です。



図面出典：国立研究開発法人 産業技術総合研究所 地質調査総合センター  
<https://www.gsj.jp/Map/JP/geology4-8.html>

## 地質の状況（参考 泥岩のスレーキング）



<参考>

河岸に露出する泥岩に発生したスレーキングです。乾燥と湿潤を繰り返すことで発生し、この写真のような塊状の泥岩にしばしば見られます。

出典：国立研究開発法人 産業技術総合研究所  
地質調査総合センター

<https://gbank.gsj.jp/geowords/glossary/sa.html#slaking>

## 事業区域に隣接する銘川の状況



銘川の状況



銘川左岸の湧水の状況